別添

（参考資料）不登校の低年齢化について

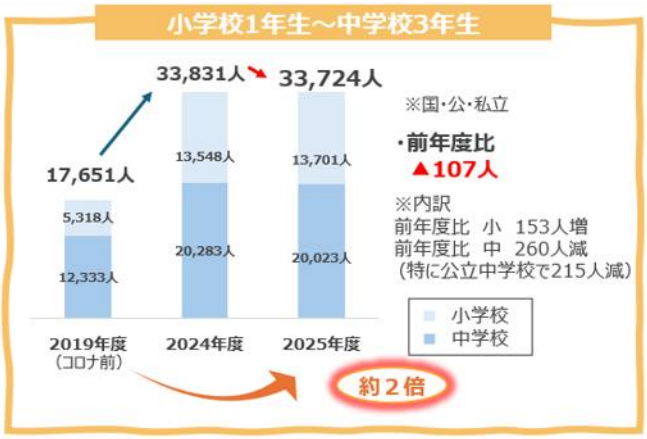
都における「不登校の低年齢化」の状況

✓ **小中学校の不登校者数の増加率**は、2025 年度と 2019 年度（コロナ前）を比較すると**約 2 倍**

✓ とりわけ、**小学校 1 年生の不登校者数の増加率**は、**約 3 倍**

▶ 全体の増加率に対し、**小学校 1 年生の増加率が大きく上回って**おり、**不登校の低年齢化**の傾向

不登校者数の推移





（資料）文部科学省「令和 7 年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」を基に作成

調査の概要

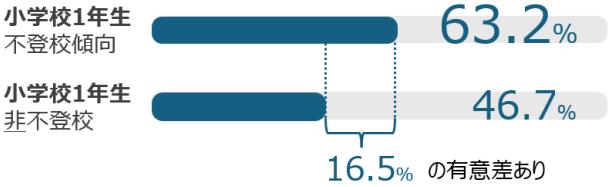
上記の状況を踏まえ、令和 7 年度に「不登校の低年齢化に関する実態調査」を実施

アンケート調査：都内小学校 1・3・6 年生の児童・保護者　全 4,161 世帯から回答

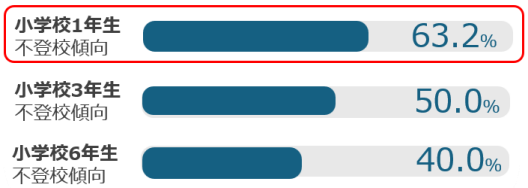
ヒアリング調査：学びの多様化学校、教育支援センター、フリースクール等の児童　204 人及び支援者等 40 団体から回答

✓ 不登校傾向の**小学校 1 年生児童を持つ**保護者の**約 6 割**が、**入学前から不安**を抱えており、他学年と比較して最も割合が高い　（保護者向けアンケート結果）

小学校入学前から、学校生活になじめるか心配や不安を抱えている割合



特に小学校1年生で不安に感じている割合が高い



✓ **幼保小の円滑な接続**に向けた、**行政から保護者へ**の更なる**情報提供が必要**（支援者向けヒアリング結果）

- **家庭での入学準備に関する情報**や、**低学年向けの子育て情報**について、行政からの**情報提供が一元的でない**状況
- 幼稚園や保育所等は、家庭支援に繋げやすい場であり、**就学前の段階**で、**保護者に「困ったら相談してよい」という意識付け**を行うことが大切